

## はじめる助成団体に対するフォローアップ調査結果(2022 年度)

### I 2022 年度の助成金応募状況

地球環境基金助成メニューの一つであるはじめる助成は、「助成期間で得られた知識・経験を用いて、将来はひろげる助成の対象になること」を期待して実施しているものである。

2021 年度にはじめる助成を受けた 10 団体における、2022 年度応募状況は以下のとおりであった。

表1 2021 年度はじめる助成団体における、2022 年度応募状況

2022 年度 応募状況	応募 団体数	うち採 択 団体数	うち不採 択 団体数	不採択団体の不採択理由(抜粋)
ひろげる 助成	1	1	0	
つづける 助成	7	7	0	
フロントランナー 助成	1	1	0	
応募なし	1 (10.0%)			
合計	10	9 (90.0%)	0 (0.0%)	

2022 年度に採択された割合は 90.0%(9 件)と、前回の調査(33.3%)と、前々回の調査(45.5%)の採択率と比べて上昇していた。

また、ひろげる助成に応募した団体が1団体、フロントランナー助成に応募した団体が1団体で、つづける助成に応募した団体は7団体だったことは、つづける助成の目的や助成対象活動などが団体のニーズに合っていたからと考えられる。

次に、2021 年度にはじめる助成を受けた 10 団体のうち、2022 年度に応募しなかった 1 団体を対象として、助成を要望しなかった理由などをアンケート調査票で取りまとめた。

## II 助成を要望しなかった団体について

### 1) 活動の継続実施の有無

「助成活動は、継続して実施していますか」という質問に対し、1 団体は「継続している」と回答した。(表2)

表2 活動の継続実施の有無

区 分	対象団体数 1 件
	件 数
a. 自団体で継続している	1
b. 他団体で継続している	0
c. 継続していない	0

### 2) 助成終了後の現在の財源について

「自団体で継続している」と回答した 1 団体について、助成終了後の現在の主な財源は、以下のとおりであった。(表3)

表3 助成終了後の現在の主な財源について(複数回答可)

回 答 項 目	対象団体数 1 件
	件 数
a. 国の補助金・助成金(地球環境基金以外)	0
b. 地方自治体の補助金・助成金	1
c. 民間財団の助成金	0
d. 地球環境基金	0
e. 寄付金	0
f. 会費	0
g. 事業収入	0
h. その他	0

### 3) 2022 年度の助成を要望しなかった理由について

「自団体で継続している」と回答した 1 団体について、2022 年度の地球環境基金の助成を要望しなかった理由は、以下のとおりであった。(表4)

表4 2021 年度の助成を要望しなかった理由について(複数回答可)

回 答 項 目	対象団体数 1 件
	件数
a. 活動の目的を達成した。	0
b. 団体の活動を休止または団体を解散した。	0
c. 助成の申請手続き・精算が複雑すぎる。	0
d. 助成を受けるための資格要件が乏しい。	0
e 助成制度が要望に合わない。(助成金の使途制限等)	0
f. その他	1

※「f.その他」の具体的な理由として、「地方自治体からの助成金を活用し継続できそうだから」と回答した。